

観光協会からの報告

●新会長に末田健治が就任しました。

7年間観光振興に尽力された川本英介さんがこの度退任し、新会長に末田健治が就任しました。「新たなものを作ることを無く、町内に存在する資源を最大限活用できる観光振興の道を探っていく」ことを力強く宣言しました。大きく変化を遂げていく今後の観光協会にご期待ください。

●与一野のしだれ桜保全活動支援絵はがきが一大ヒットしました!!

中国新聞報道以降大きな反響があった絵はがきですが、広島銀行の協力もあり、販売部数がなんと1000セットを超えました。(5月30日現在)

各地区と観光協会、そして地域密着型企业との新たな協力のあり方を町民の皆さんに示すことができました。そして何より、都市部の方々との交流を「地域活性」にどのように繋げたらよいかという悩みを持たれた多くの自治会の皆さんに「上殿地区の七夕かざり」「松原地区の雪かき」に続いて具体例を提示できたと思います。

方法はたくさんあります。お悩みの場合はご相談ください。みんなで考えれば何かアイデアが出るはずです。



安芸太田町田舎体験推進協議会からの報告

●民泊体験型修学旅行の訪問校が早くも決定しました。

来年11月に横須賀市の県立高校220名(男女共学)が、民泊体験を目的として来町することになりました。

この決定の早さは異例中の異例です。(いくつかの実績ある候補地を抑えて当町に決定したそうです。)本事業を支援している広島県や広島商工会議所でも驚きをもって迎えられています。

これで安芸太田町には可能性があることがしっかり証明されました。

民泊による地域振興の第一人者の先生からも安芸太田町は現在多くの修学旅行を受けて地域活性化に寄与しつつある「周防大島」の最初の頃と「熱気」が良く似ていると言われました。

町民の皆さん、どうぞ前向きな気持ちでこの事業への「ご参加」をお願いします。

●今年民泊受入れ試験事業を実施します。

本年8月に民泊登録家庭を対象とし、都市部の中・高校生を本町に招いての民泊試験受入れ事業を実施します。

本事業では、都市部の生徒との交流が受入れ家庭やその地域に活気をもたらすこと、そして何よりも「楽しい」ことだをご理解いただくことを目的としています。

●本協議会の実行組織である民泊部会と田舎体験部会がスタートしました。

町民一人ひとりが主役の本事業の中心的役割を担う、部会役員にはさまざまな経歴を持つ方が就任しました。各部会役員の方々と改めて、前向きに積極的にそして意欲的に前に進もうと誓い合いました。これからよろしくお願いします。

◆田舎民泊部会…部会長 横山 照夫 副部会長 道教多美子

◆田舎体験部会…部会長 河本 紀六 副部会長 岡 尚三